

子ども会とは

【子ども会とは】

子ども会は、乳幼児から高校3年生年齢相当までを構成員とし、地域を基盤とした異年齢の集団です。

その活動を支える指導者と側面から援助する育成者が必要であり、この子どもの集団と指導者、育成者を含めた総称として用います。

仲間と活動を共有することによって、その子およびその子が参加している集団の、より望ましい成長を意図したコミュニティ活動です。

地域を基盤とし、仲間集団のもつ形成力と、活動（経験）を通しての成長を統合し、よりたくましい子ども、子ども集団を実現しようとする活動です。

家庭・学校では、与えることが困難な、しかし、子どもの発達にとって不可欠な経験を与えることを目的としており、家庭・学校はもとより、地域の諸機関・諸集団と強い連携を保ちながら、活動を進めていくことが大切です。

【子ども会のねらい】

子どもは、遊び仲間を求めており、遊びを通じて社会の一員として必要な知識、技能、および態度を学んでいます。

このような子どもの遊びの特徴をとらえ、健全な仲間づくりをすすめ、心身の成長発達に大切な活動を促進助長するのが子ども会です。このような活動は、学校や家庭における教育とともに、欠くことのできない重要な教育的活動であることを再認識しましょう。

今日の子どもは、21世紀に生きる……。子どもを豊かな社会の担い手にふさわしい人間として育てるために、子ども会活動をひろく進めましょう。

【いろいろな活動】

子どもたちの欲求、興味、関心などから、また、子どもの成長発達を促す上からも、次のような諸活動が考えられます。この他に、広報活動、施設見学の活動なども考えられます。それぞれの地域でどんな活動があるか考えてみましょう。

【社会的なもの】

社会活動 … ひな祭り、七夕祭り、クリスマス、新年会など

奉仕活動 … 道路清掃、老人ホーム訪問など

安全活動 … 子ども会KYT、安全教室、自転車教室、救急法など

【文化的なもの】

文化芸能活動 … 歌、人形劇、音楽会、映画会など

創作活動 … 写生、工作、作品展、ガラクタ創作など

学習活動 … 天体観測、読書、ユネスコ（国際理解）など

【体育的なもの】

スポーツ活動 … ラジオ体操、バレーボール、野球、サッカーなど

レクリエーション活動 … フォークダンス、ゲームなど

（公益社団法人 全国子ども会連合会 HP「子ども会用語集」より）

子ども会加入のメリット

【安全共済会への加入】

子ども会活動を安心して行うために、子ども会が主催する活動における事故等のケガや室病等について補償し、青少年の健全な育成と福祉の増進に資することを目的としています。

【法に則った事業で安定性や安心を確保】

法律に基づき認可を受けて実施される事業であり、行政庁からの監督を受けることで、健全性が評価され、事業の安定性も高まります。

団体として会員である保護者等に対し、事業の説明がしやすくなり、会員にとっても安心につながります。

【安価な掛金と手厚い補償】

既存の民間保険会社との団体契約に比べて、安価な掛け金で手厚くきめ細やかな補償が可能となり、安定した事業の継続が確保できます。

（別紙：子ども会に入ろう！参照）

【安全普及活動】

各子ども会の実情に即した安全普及活動を行うことができます。

（公益社団法人 全国子ども会連合会 HP 「全国子ども安全共済会とは」）